

ID No.	126
研究課題名	成人 T 細胞白血病 (ATL)における癌幹細胞マーカーの探索とその細胞生物学的解析
研究代表者	宇都宮 與 (鹿児島大学・客員教授/今村病院分院・院長)
研究組織	
受入教員	東條 有伸 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	中野 伸亮 (今村病院分院・造血細胞移植部長) 石垣 知寛 (東京大学医科学研究所・助教)
研究報告書	
<p>平成27年度東京大学医科学研究所共同研究申請書(継続申請)研究計画書に示した通り、研究を進めた。</p> <p>急性型ATL患者の末梢血単核球より、フローサイトメトリーによるATL細胞分離法(HAS-Flow法)を用いて、ATL細胞のみを特異的に取り出し、詳細に細胞表面抗原解析をおこなうことで、今まで知られていない急性型ATL細胞の細胞表面抗原の発現/低下の特徴が明らかになった。また、同様に、ATL細胞だけを特異的に取り出し、共培養系を用いた細胞生存・増殖能の評価を繰り返した結果、間葉系細胞上で生存・増殖可能な細胞は特定の分画に高度に濃縮される事が分かってきた。</p> <p>また、免疫不全マウスへの移植・評価系を確立し、特定のATL細胞分画を移植したところ、in vivoにおいても他のATL分画を作り出せること、担ATLマウスを腫瘍死させることが分かった。</p> <p>これらの研究から得られた結果の一部に関しては、それぞれ多数の学会発表にて報告した。現在、論文投稿の準備を進めている。</p>	